

二〇一〇年度 一般一月入学試験

国 語

〔注意事項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は29ページ、解答用紙はマーク・シート1枚です。監督者の指示に従って確認しなさい。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があつてから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

国

語

(60分 100点) (解答番号

1

5

45

)

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(40点)

福岡南に戻ると、そこには私の、高校二年の現実が待っていた。

三年生はすでに、小道場にはこなくなっている。柵から防具は下げられ、一年生は一人一ヶ所ずつ平等に使えるようになり、まだ八つ、場所は余っている。また人数が減った分だけ、稽古けいこの密度は確かに上がった。でもそれがいいことかっていったら、私には、全然そんなふうには思えない。

三班が、黒岩カラー(注)一色に染まっていく。それってけっこう、怖いことだと思う。意識的に、その色に染まらないようにしようとしている私にはよく分かる。特に一年生なんか、みんなレナのコピーみたくなってる。避ける仕草とかまでそっくりだ。体格も身長もみんな違うのに、振り付けみたいに、みんなが同じ動きをする。それってある意味、不気味なことだと思う。

私は何よりゾツとしたのは、レナが、平気で英語を使い始めたことだ。ガード、コンビネーション、フェイント、ラッシュ。同じことを意味する日本語はちゃんとある。捌さばくとか、応じる。連続打ち、虚を見せる、セめ崩す。⁽¹⁾なのに、レナは積極的に、英単語を使って後輩にアドバイスを送る。

確かに、パッと一瞬でいうには、英語の方が分かりやすいときもある。でもそれによって失われていく何かの方が、私にはずっと大きいように思えてならない。

ただ、それを説明する言葉が、今の私にはない。

レナがいう「競技化」というのは、どういう言葉で飾ってみても、結局は「スポーツ化」と同じ意味なんだと思う。それに対立する概念でいったら、やっぱり「武道」ってことになるんだろうけど、じゃあなんで、フェイントっていつちやいけないのか、

みんなと同じ動きをしたらいけないのかは、上手く説明できない。

だから結局、口をつぐんだまま、私は一人で別の動きをしている。

吉野先生は腕を組んで、後ろで見てるだけ。ほとんど注意も助言もしない。ときどき地稽古の相手はしてくれるけど、決して毎回ではない。気が向いたときに、気紛れに何人かと一回ずつ、って感じ。ひよつとして、黒岩の好きにやらせてやれって、城内先生からいわれてるのかな、なんてことも、ちよつと思ったりした。

メニューはむろん、全体的にハードになっている。面をしてみると表情はあんまり見えないけど、一年生の大半はかなり苦しがつているように、私には見える。でも誰も、文句はいわない。これを続けていれば強くなれる。全国大会で優勝できるような実力がつく。そう信じているのだろう。私も、ある部分ではそう思う。こういう稽古を続けていったら、超人的に強い選手の一人や二人は生まれてきそうな気はする。

そのカゲで、何人の脱落者が出るかは、知らないけど。

ねえ、レナ。私はよく知らないけど、あなたは、コナカイさんって子が脱落しそうになったとき、助けようとしたんじゃないの？ 前に森下さんがいつたのは、そういうことじゃないの？

それなのに、今度はあなたがみんなを篩にかけて、駄目な人は抜けなさい、ってやるわけ？ 矛盾してない？ それって。

一歩引いた場所から見ると、あんまり変わんないと思うよ。あなたが今やっていることと、森下さんたちがやってたことと。私にいわせれば、伝統をないがしろにしないだけ、先輩たちの方がよかったんじゃないかって思うよ。いう資格、私にはないんだらうけど。

どっちにしても、なんか受験勉強みたいだよ。この部の稽古って。試合試合って、そればかり。大きな大会はなくても、部内では月例の査定試合がある。他の班との試合も、他校との練習試合もしょっちゅうある。毎週末に模試試験がある、予備校となんにも変わらない。それで一体、みんなはなんに合格しようとしているの。

さらに私が首を傾げたのは、二年生に対する、一年生の質問だ。

今週末に対戦する学校はどんなスタイルが得意ですか。何々さんでどういう選手ですか。映像があったら貸してください。もういい加減にして、と思った。そこまでして勝ってなんになるの、って本気で思った。

でもレナは、それ⁽¹¹⁾に対しても真面目に答えた。

あそこは足腰が強い選手が多いけど、その点はうちも負けてないと思う。個々の選手のデータはマネージャーが管理してるから、各自見せてもらうか、必要があったらコピーしてもらって。

正直、うんざりした。テスト範囲と過去問題集、傾向と対サク、ヤマ張って一夜漬け？ 馬鹿じゃないの。そうやって、福岡南は強いって評判を落とさないように身を粉にしてがんばって、なのに三年の夏が終わったら、邪魔者扱いされて道場から追い出されるわけ？

私、最初この学校にきたとき、自分が練習についていけないのは、これまで自分が東松⁽¹²⁾でしか剣道を習ってこなかったからだと⁽¹⁴⁾思った。でも、今はそうじゃないと思ってる。他を知らないのはこの人たちだ。じゃなきゃ、ここの剣道にどっぷり染まりすぎてる。

インターハイ個人優勝。団体優勝。玉竜旗制覇。選抜大会連覇。そういう「正解」を導き出したのは、今のこの部が持っている稽古システムなんだって、みんな信じ込んでる。

いや、それ自体は間違っていないのかもしれない。でもそれって誰のため？ 個人個人の剣道のために、本当になってる？

私は今になって、桐谷先生のあの言葉の重要性を痛感している。ひょっとして、私のこの状況を、分かっていてくださった助言だったのかも、くらいに思っている。

——何も、こんな馬鹿に付き合って、試合試合とあちこち飛び回る必要はありません。いかがですか。明日は一日、ゆっくりとこちらで、稽古をなさっては。

横浜大会自体は、私なりに有意義な試合ができたと思ってる。でも、あのあともう一回、桐谷道場で稽古ができてたらって、今はすぐ後カイ⁽¹⁶⁾してる。横浜大会か、桐谷道場か。時間がないんだからどっちか一つに決めなきゃいけなかったあのとき、も

問1 傍線番号(1)・(5)・(9)・(12)・(16)と同じ漢字を使う語を、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしなさい。

1
┆
5

(1) セ|め

1

- ① 精|コウ|につくられた模型
- ② 通|気|コウ|から脱出する
- ③ 契|約|をコウ|改|する
- ④ 英|文|学|を専|コウ|する
- ⑤ 勝|ち|負|け|にコウ|泥|するな

(5) カ|ゲ

2

- ① イン|険|な手口で妨害する
- ② イン|責|辞任を迫られる
- ③ 仲|間|うち|のイン|語|を使う
- ④ 著|書|のイン|税|を受け取る
- ⑤ イン|習|にとらわれる

(9) 模|ギ|

3

- ① ギ|曲|を執筆する
- ② 多|く|のギ|牲|を払う
- ③ 便|ギ|的|な処置をとる
- ④ ご|祝|ギ|をいただく
- ⑤ 波|の|ギ|音|を作る

(12) 対|サク|

4

- ① 捜|サク|願いを出した
- ② 国|サク|でつくられた会社
- ③ ご|み|のサク|減|に取り組む
- ④ 労|働|者|からサク|取る
- ⑤ 期|待|と不安が交|サク|した

(16) 後|カイ|

5

- ① 団|カイ|の世代
- ② 過|去|を述|カイ|する
- ③ カ|イ|恨|の念に駆られる
- ④ 厳|しい|カ|イ|律|のもとで暮らす
- ⑤ 奇|カ|イ|な出来事

問2 傍線番号(2)「それによって失われていく何か」とあるが、その内容の説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中か

ら一つ選びマークしなさい。

6

- ① 英単語を使って技を教えることで失われていく伝統的な剣道のあり方
- ② 英単語を使ってアドバイスすることで失われていく同級生の連帯感
- ③ 英単語を使って鼓舞することで失われていく日本人らしさ
- ④ 英単語を使って動作を表現することで失われていく日本語の美しさ
- ⑤ 英単語を使って説明することで失われていく先輩からの信頼

問3 傍線番号(3)「私は一人で別の動きをしている」とあるが、どういうことか。その説明として、最も適切なものを、次の①

～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

7

- ① 黒岩のやり方に傾倒し、武道の伝統を守ろうとしている、ということ
- ② 黒岩のやり方になじめず、部内で自分だけが孤立している、ということ
- ③ 黒岩のやり方に疑問を感じ、自分は独自の稽古を続けている、ということ
- ④ 黒岩のやり方に反発し、ことごとく黒岩と対立している、ということ
- ⑤ 黒岩のやり方に不安を感じ、新たな稽古を考えようとしている、ということ

問4 傍線番号(4)「ひよっとして、黒岩の好きにやらせてやれって、城之内先生からいわれてるのかな」とあるが、この時の

「私」の心情の説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

8

- ① 吉野先生も黒岩のやり方に不満を持っているのかなと思います、喜びを感じている
- ② 吉野先生も黒岩のやり方を奨励しているのかなと思います、劣等感を覚えている
- ③ 吉野先生も黒岩のやり方を黙認しているのかなと思います、疑念を抱いている
- ④ 吉野先生も黒岩のやり方を後押ししているのかなと思います、怒りを覚えている
- ⑤ 吉野先生も黒岩のやり方に満足しているのかなと思います、無力感を感じている

問5 傍線番号(6)・(8)・(10)・(13)・(17)の本文における意味として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしなさい。

9
13

(6) 篩にかけて

9

- ① 基準に合っていない、思い切って捨て去って
- ② 多くのものの中から、特別のものだけをより分けて
- ③ 優れているものだけを選別し、特別扱いして
- ④ よいものを競争させて、優れた状態を保って
- ⑤ 劣っているものに磨きをかけ、よいものに変えて

(8) ないがしろにしない

10

- ① 口出ししない
- ② 妨害しない
- ③ 無駄にしない
- ④ 軽んじない
- ⑤ こだわらない

(10) 首を傾げた

11

- ① 深い感銘を受けた
- ② 大いに期待していた
- ③ 激しく抗議した
- ④ 納得できなかった
- ⑤ 強い関心を持った

(13) 身を粉にして

12

- ① 心を込めて丁寧
- ② 無理を重ねて疲れ果てて
- ③ 苦勞をいとわず一生懸命に
- ④ はなはだしく心を痛めて
- ⑤ 他人の顔色をうかがって

(17) 強いていうとしたら

13

- ① 正確に言うのであれば
- ② 真面目に言おうとすれば
- ③ いいかげんに言うのでよければ
- ④ 自信を持って言うならば
- ⑤ あえて言うとしたら

問 6

傍線番号(7)「矛盾してない？」とあるが、「私」はどういうことを矛盾していると感じているのか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

14

- ① かつては純粹に強くなりたくて稽古をしていた人が、名声を維持するための稽古ばかりしていること
- ② かつては稽古からの脱落者を救おうとした人が、脱落者を生み出すようなきつい稽古を部員に課していること
- ③ かつては稽古を楽しむ余裕があった人が、試合に勝つためだけに躍起になって稽古をしていること
- ④ かつては助け合いながら稽古をしていた人が、人を蹴落^けとしてもかまわないと必死に稽古をしていること
- ⑤ かつては全員が強くなることを稽古の目標にしていた人が、超人的な選手を育てるためだけの稽古をしていること

問7 傍線番号(1)「それ」とあるが、「それ」が指しているのはどのようなことか。その説明として、最も適切なものを、次の

①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

15

- ① 対戦相手の特徴を研究し、自分たちのチームに引き入れようとする一年生の質問
- ② データの収集ばかりを指示する練習スタイルにうんざりしている一年生の質問
- ③ 自分の剣道を高めることよりも対戦相手のデータ収集に熱心な一年生の質問
- ④ 対戦相手を取り組んでいるスタイルを自分たちの練習に採用したいと思う一年生の質問
- ⑤ データを読み込むことだけに一生懸命で他のことは一切考えていない一年生の質問

問8 傍線番号(14)「今はそうじゃないと思ってる」とあるが、昔と今とでは「私」の考え方はどのように変化したか。その説明

として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

16

- ① 昔は経験不足であることに自分が強くなれない原因を見いだしていたが、今はこの学校の稽古のやり方では強くなれないばかりか将来自分の役にも立たないと不安になっている
- ② 昔は剣道に取り組む姿勢の中途半端さに自分の過ちを見いだしていたが、今は勝つために懸命になるあまり「スポーツ」化している剣道に疑問を感じないこの学校に危惧を抱いている
- ③ 昔は試合相手に対して冷静な分析をしていないことに自分の敗因を見いだしていたが、今は勝つことに執着して徹底的に分析を重ねるこの学校の剣道を軽蔑している
- ④ 昔は稽古についていけない自分自身の体力不足に反省点を見いだしていたが、今は強くなることだけを信じて無理を重ねているこの学校の稽古のやり方に不満を抱いている
- ⑤ 昔は他校の剣道を知らなかった自分自身に弱点を見いだしていたが、今は福岡南の稽古しか知らずそれが正しいと信じているこの学校の方に問題があると考えている

問9 傍線番号(15)「私のこの状況」とあるが、どのような状況か。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ

選びマークしなさい。

17

- ① 強くなると信じて繰り返す激しい稽古が個人個人の剣道のためになっているのかどうか、疑問に感じている状況
- ② 全国制覇を夢見て繰り返す厳しい稽古にひたすら耐え抜くという現在の部活動に、あきらめつつある状況
- ③ 超人的な体力を持つごく一部の生徒がそうでない生徒にも同じ稽古を強制することに、いらだちを抑えられない状況
- ④ 考えることを放棄してまで従順に稽古を続ける部員ではいたくないという、自我の目覚めを意識している状況
- ⑤ 伝統に縛られることに我慢できず、自分が何のために苦しい稽古を続けているのかがわからなくなっている状況

問10 傍線番号(18)「年をとっても、桐谷先生みたいに剣道ができたらいいな」とあるが、この時の「私」の心情の説明として、

最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

18

- ① 今のような稽古では剣の「超人」にも「達人」にもなれそうにないが、経験を積んで剣の「達人」をめざしてみたい
- ② 厳しい稽古を積んで黒岩を見返して剣の「超人」になり、ゆくゆくは桐谷先生をしのぐ剣の「達人」になりたい
- ③ 桐谷先生のような剣の「達人」の域に到達するのは時間がかかるので、若いうちは剣の「超人」でいたい
- ④ 超人的な剣士をめざすような今の稽古を続けるより、桐谷道場のような稽古をして剣の「達人」に近づきたい
- ⑤ 今の稽古を大切にして超人的な体力を身につけるとともに、個人の能力をきわめた剣の「達人」と呼ばれたい

問11

本文の内容や文体についての説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

19

- ① 厳しい稽古に脱落しそうな「私」の苦しみとそれを叱咤^{しつた}激励しながら温かく支える周囲の人々の様子が、下級生の目から客観的にとらえられている
- ② 上級生が去り、稽古と試合を繰り返す中で生まれてきた疑問に自分の答えを出そうとする様子が、「私」の心の中を率直に語る形で進められている
- ③ 稽古のやり方をめぐって「私」が同級生と対立し、徐々に溝が深まっていく様子が、「私」と部員との激しい言葉の応酬を通して生き生きと描き出されている
- ④ 古い稽古にとらわれない新しい部活動のあり方を確立しようと奮闘する「私」の心情や行動が筆者の目を通してとらえられ、筆者の分析も織り交ぜながら描かれている
- ⑤ 「私」の置かれた状況に対して鋭い分析を深めていく様子が、「私」自身の自問自答の繰り返しや読者への訴えかけを通して具体的に描かれている

第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(40点)

会社や役所、大学の学部、シ¹味の集まり、クラブや同窓会などもみな「世間」をなしている。その「世間」は日本人一人一人の行動を拘束するものであり、日本人は自分の振る舞いの結果「世間」から排除されることを最も恐れて暮らしている。会社や役所などで不祥事が起こったとき、「世間を騒がせて申し訳ない」と謝罪することがある。個人の不祥事の場合にはこの言葉の前に「自分は無実だ」という言葉がついていることが多い。

この言葉を欧米の言葉に訳すことはできないのである。欧米では自分が無実なら、そのことが皆に理解されるまで闘うという言葉になるはずである。しかるに日本では無実だといっておきながら謝罪してしまうのである。論理的にこの言葉は欧米の言葉に訳すことができないのである。

2

3

日本人なら誰^{だれ}でも理解するのに欧米人には全く理解できないのは日本人が「世間」を知っており、欧米人は「世間」を知らないためなのである。この場合の「世間」は比較的狭い範囲の人間関係であり、自分が不当にも何らかの疑いをかけられたために、自分と関係が深い人々に迷惑をかけたことをまずお詫^わびしているのである。

自分の非を認める前に「世間」に謝罪しているのだが、「世間」に住む人々は自己よりも「世間」を主にして考え、かつ行動しているのである。日本の犯罪にかかわる白書を見ると強盗殺人の原因として借金の返済のために犯行を犯しているケースが多く見られる。借金によって「世間」に借りが生じている状態に耐えられないのである。そのために強盗殺人を犯すということはどうしようもない背理⁵であるが、そこに「世間」のしがらみ⁶がある。ここからわかるように「世間」は社会ではなく、比較的狭い範囲の人間関係なのである。「世間」の中で生きている人々は常に視線を「世間」に向けている。

「世間」の中に生きる人々の行動の原理は三つの原則によっている。贈与・互酬の原則と長幼の序、共通の時間意識である。私たちは日常生活の中でおごられたら、いつかこちらからお返しをする、という関係を自然に結んでいる。この互酬関係は「世間」においては人間の間だけでなく、人間と自然界、動植物の世界との間にも結ばれている。長幼の序については説明の必要は

ないだろう。目上の者を畏敬する⁽⁸⁾という意味でこの言葉は使われているが、実際には目上の者が下の者を時には軽んずるといふ場合もあり、年寄りがい張る場合もある⁽⁹⁾。これも長幼の序の反面といえる。共通の時間意識とは「世間」の中で生きている人々は皆一つの時間の中で生きていると信じていることをいう。私たちが日常の挨拶として「今後ともよろしくお願ひします」といい、「先日は有り難うございました」というのは共通の時間の中で生きていると思つているからである。欧米人は一人一人がそれぞれ自分の時間を生きている。したがつて欧米の言語にはこのような挨拶の言葉はない。私たちは欧米の人々と付き合う上でも自分たちのこの⁽¹⁰⁾ような特性を知つておかなければならないのである。

このような「世間」についてはこれまで私の著書以外に論じた人はほとんどいなかった。何故これほど重要な概念が論じられずにいたのかという興味ある問題もあるが、ここではこの「世間」の中で生きてゆく方法について考えてみたい。

「世間」の中で生きてゆくためには何よりもまず上述した三つの原則を守らなければならない。その上で「世間」は社会の現在の秩序を前提としているから、現在の秩序に従つて暮らさなければならない。たとえばそれぞれの人の地位に相応しい礼儀・作法を守つて付き合うといったことである。協調的な姿勢を常に示し、極端な感情的な行動は慎まなければならない。何らかの意見の表明を求められた時には、できるだけ大勢に従つた意見を表明しなければならない。一人だけ突出した意見を述べてはならないのである。特に葬式などには必ず出席し、仕事には熱心であるという評判を得なければならない。しかし仕事と宴席との別ははっきりとし、宴席では時に⁽¹¹⁾斟酌⁽¹²⁾することも必要である。自分については多言をヒカえ、ケン虚であるという評判を得なければならない。何らかの特別収入があつたときにはできるだけ多くの人にお裾分けをし、著書を出した時にも多くの人に配らなければならない。

人の悪口をいわず、人を褒める時には言葉を惜しんではならない。神仏に対しては敬虔な態度を維持し、神社仏閣でもそのような態度を示さなければならない。しかしどのような宗教にせよ、熱中してはならない。どのような思想でもそこに自分を賭けてはならない。適度の距離をとらなければならない。時に自己を⁽¹³⁾待み、正しいと自分が考えることのために大勢と異なつた行動に出ようとする者がいるが、そのような人はその行動のために「世間」からはみ出ることを覚悟しなければならない。

「世間」の中で生きるということは以上のようなことであるが、総じていえば、「世間」で暮らす人は「世間」の人々へのみ視線を向けて暮らしているのである。自分の「世間」以外のことに関心を向けることはほとんどない。しかし人の一生にはさまざまなことが起こる。戦争や災害、病気や事故などが起こったとき、「世間」の人はどう対応するのだろうか。戦争や災害、病気や事故は「世間」の中に常に位置づけられている現象ではない。原理的にいえばこれらの現象は常に「世間」の外から「世間」の中で生きている人に襲いかかってくる突発的イベントとして受け止められている。日常生活の中で常にそのような突発的イベントに对应すべく準備しているわけではないのである。いい換えれば「世間」の中で生きている人にとっては、これらのイベントは「世間」の中に根を持たない外界から突然襲いかかってくるものとして受け止められている。

⁽¹³⁾このような「世間」の構造の下で「いつたい歴史はどのような意味をもっているのか」を明らかにすることが本稿の課題である。歴史もこれらの突発的イベントと同じく、「世間」の外に位置づけられており、「世間」の中に常に位置をもっているわけではない。その意味で「世間」は自らの中に時間をもってはいるが、「世間」そのものは常に変わることなく、時間を超越しているのである。

⁽¹⁴⁾明治以降日本は欧米を範とする近代化の道を歩んできた。近代化はまず行政府とその周囲から始められ、大蔵省をはじめとする各省庁の成立、陸海軍の成立、学校教育の整備と進められた。しかしあまり注目を浴びていないが、この近代化計画の中で近代化しえない部分が存在していた。人間関係である。親子主従の関係や天皇と国民との関係などは近代化しえなかったのである。その結果近代化された各省庁の中に近代化されなかった人間関係が生き残ったのである。それは軍隊も同様であり、学校も同様であった。その人間関係は「世間」という古い絆（絆）に象徴されていたが、すでに述べたような特徴を持つ「世間」が近代化された外カク（外カク）の中に生き残っていたのである。それを封建遺制と呼ぶ人もいるが、それは決して遺制ではなく、明治以降再編成され、近代化を助けてきたのである。

近代化は日本にとっては国を賭けた大事業であったから、近代化に全力が注がれた。近代化の意味を理解しない人々の協力も得なければならなかった。そのさいに「世間」は大きな力を発揮し、近代化の協力体制を作り上げたのである。こうして全てが

近代化に向けられていたために、近代化は建前となり、「世間」は本音であったが、正面に取り上げられることなく、隠されていた。現在でも「世間」は隠されたまま本音として生き続けている。

(阿部謹也『日本人の歴史意識』による)

問1 傍線番号(1)・(9)・(11)・(12)・(15)と同じ漢字を使う語を、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしなさい。

20
 ↓
 24

(1)

シユ味

- ① シユ体的に取り組むことが大切だ
- ② 特シユな加工を施す
- ③ シユ玉の名作といわれる作品
- ④ さまざまなシユ向を凝らす
- ⑤ 彼はシユ勢には回らないだろう

(9)

イ張る

- ① インフルエンザが猛イを振るう
- ② あの法案にはイ議を唱えたい
- ③ 原料を外国にイ存する
- ④ 生物のイ伝について研究する
- ⑤ 人イ的に雨を降らせる

(11)

ヒカえ

- ① 福利コウ生の充実した会社
- ② コウ久平和を願う
- ③ コウ涼とした風景
- ④ 東京近コウに住む
- ⑤ 上級審にコウ訴する

(12)

ケン虚

- ① 駐車違反をケン挙する
- ② 尊敬語もケン讓語も敬語である
- ③ 君主に収穫物をケン上する
- ④ 祖父は年を取ってもケン脚だ
- ⑤ ケン実な仕事ぶりが評価される

(15)

外カク

- ① 直カクに曲がる
- ② 問題のカク心をつく発言だ
- ③ 厳カクな父親
- ④ 間カクを空けて駐車する
- ⑤ 輪カクがぼやける

問2 空欄番号

2

3

に入る文として、適切なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしな

さい。

2

3

25

26

- ① この言葉は日本人には必要不可欠なものであろう
- ② なぜなら、この言葉は複数の意味を持っているからである
- ③ この言葉は日本人なら誰も不思議に思わず理解するであろう
- ④ 欧米人にも、この言葉が受け入れられることを期待したい
- ⑤ しかし欧米人には全く理解できないのである

問3 傍線番号(4)・(5)・(6)・(8)・(14)の本文における意味として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしなさい。

27
31

(4) 非を認める

27

- ① 自分の判断でしたことを認める
- ② 自分の仕業であると認める
- ③ 自分に常識がないと認める
- ④ 自分が悪かったと認める
- ⑤ 自分の力不足を認める

(5) 背理

28

- ① 理性をなくすこと
- ② こじつけの理屈
- ③ 一面の真理
- ④ 物事の裏の面
- ⑤ 道理に合わないこと

(6) しがらみ

29

- ① よけいなおせっかい
- ② あからさまないやがらせ
- ③ まとわりついて離れないもの
- ④ どうすることもできない圧力
- ⑤ 血縁や地縁による心の絆

(8) 畏敬する

30

- ① おそれ敬う
- ② 心の底から怖がる
- ③ 心から敬意を示す
- ④ 表面上は仲良くする
- ⑤ 心から信用する

(14) 範とする

31

- ① 裏返しにする
- ② 完全に無視する
- ③ 敵とみなす
- ④ 友人とみなす
- ⑤ 手本とする

問4 傍線番号(7) 「『世間』の中に生きる人々の行動の原理は三つの原則によっている」とあるが、「世間」の中で生きていくた

めの原則に沿った行動や心情を表したものととして、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

32

- ① 人々がそれぞれに自分の時間を生きているので、日常生活の中では時間意識を共有するための挨拶が交わされる
- ② 長幼の序の意識が働くため、こどもの日や敬老の日が国民の休日として広く認められている
- ③ 地域によって共通の時間意識にずれがあるので、欧米人と付き合うときは時差を意識する必要がある
- ④ 贈与・互酬の原則により、お歳暮などをもらった場合は、何らかの形でそのお返しをする
- ⑤ 互酬の意識が根付いているため、困っている人がいると助けてあげようとする意識が自然と働く

問5 傍線番号(10) 「このような特性」についての説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

33

- ① 欧米では共通の時間認識に由来する挨拶をもっていないが、日本についても同じ状況であるということ
- ② 欧米人は一人一人が自分の時間を生きているが、日本人はそれ以上に自分の時間を重視しているということ
- ③ 欧米では時間を示す挨拶が少ないが、日本では時間を表現する言葉が豊富に存在するということ
- ④ 欧米では時候の挨拶を使う習慣がないが、日本には時候の挨拶について多くの抽象的表現があるということ
- ⑤ 欧米人の行動は個々人で完結するのに対し、日本では共通の時間の中で皆が生きているということ

問6 傍線番号(13) 「このような『世間』の構造の下で『いったい歴史はどのような意味をもっているのか』とあるが、筆者は

「世間」と日本の近代化の「歴史」との関係についてどのように考えているか。その説明として、最も適切なものを、次の

①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

34

- ① 日本が近代化に向かった時期も「世間」の本質は変化せず、「世間」の中で生きる民衆にとって近代化は形だけのものとして認識され、日本的な文化が保たれた
- ② 日本の近代化という歴史の流れの中で、人との絆を重視し周囲に合わせて生きることを求める「世間」によって、結果的に民衆も近代化に協力することになった
- ③ 近代化という流れは、「世間」の価値観の中で生き続ける民衆にとっては突発的な事件に過ぎず、近代化という本音と「世間」という建前の乖離かひりが進んだ
- ④ 近代化という国を賭けた大事業を成功に導くために「世間」のもつ拘束力を重視した政府によって、封建制は遺制として排除されていった
- ⑤ 日本において「世間」に象徴される人間関係は現代に至るまで近代化することができず、そのことが日本の国際化を妨げる大きな要因になってきた

問7 「世間」について、筆者の主張として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

35

- ① 「世間」には明確な決まり事があるわけではないが、多くの日本人は「世間」の約束事に強く拘束されて生きている
- ② 「世間」とは比較的狭い範囲の人間関係を指し、日本人は「世間」を意識することで大人として認められるようになる
- ③ 「世間」は、欧米の「個人」という思想と激しく対立し、今日でも国際化を目指す日本人の足かせとなっている
- ④ 「世間」は人々の行動を監視し、個人の行動を拘束するため、ときには凶悪な犯罪を生んでしまうこともある
- ⑤ 「世間」は人々の経済活動の基盤になっているため、日本人は「世間」からの逸脱を最も恐れて暮らしている

第三問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(20点)

今は昔、比叡山に僧ありけり。いと貧しかりけるが、鞍馬に七日参りけり。「夢などや見ゆる」⁽¹⁾とて参りけれど、見えざりければ、今七日とて参れども、なほ見えねば、七日を延べ延べして、百日参りけり。その百日といふ夜の夢に、「我はえ知らず。清水へ参れ」と仰せらるると見れば、明くる日よりまた清水へ百日参るに、また、「我はえこそ知らね。賀茂に参りて申せ」と夢に見てければ、また賀茂に参る。七日と思へども、例の夢見ん夢見んと参る程に、百日といふ夜の夢に、「わ僧がかく参る、いとほしければ、御幣紙、打ち撒きの米ほどの物、たしかに取らせん」と仰せらるると見て、⁽²⁾うち驚きたる心地、いと心憂く、哀れにかなし。「所々参り歩きつるに、ありありてかく仰せらるるよ、打ち撒きのかはりばかり賜はりて何にかはせん。我が山へ帰り登らんも、人目恥づかし。⁽⁴⁾賀茂川にや落ち入りなまし」など思へども、またさすがに身をもえ投げず。⁽⁵⁾いかやうに計らはせ給ふべきにかと、⁽⁶⁾ゆかしき方もあれば、もとの山の坊に帰りてゐたる程に、知りたる所より、「物申し候はん」といふ人あり。「誰そ」と見れば、⁽⁷⁾白き長櫃を担ひて縁に置いて帰りぬ。いとあやしく思ひて、使ひを尋ぬれど、大方なし。これをあけて見れば、白き米とよき紙とを一長櫃入れたり。「これは見し夢のままなりけり、さりともとこそ思ひつれ、こればかりをまことに賜びたる」と、いと心憂く思へども、⁽⁸⁾いかがはせんと、この米をよろづに使ふに、ただ同じ多きにて尽くる事なし。紙も同じごと使へど、失する事なくて、いと別に⁽⁸⁾きらきらしからねど、いと頼もしき法師になりてぞありける。なほ心長く物詣ではすべきなり。

(注) 御幣紙、打ち撒きの米——神にお供えする「紙」「米」のこと。

(『宇治拾遺物語』による)

問1 傍線番号(1)・(8)の文法的説明として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしなさい。

い。

36

37

(1) 見ゆる

36

- ① ヤ行四段活用動詞の終止形＋可能の助動詞の連体形
- ② ヤ行四段活用動詞の連体形＋完了の助動詞の終止形
- ③ ヤ行下二段活用動詞の終止形＋受身の助動詞の連体形
- ④ ヤ行下二段活用動詞の連体形
- ⑤ ヤ行下二段活用動詞の已然形

(8) きらきらしからねど

37

- ① シク活用形容詞の未然形＋打消の助動詞の已然形＋助詞
- ② シク活用形容詞の終止形＋動詞の未然形＋完了の助動詞の已然形
- ③ シク活用形容詞の終止形＋打消の助動詞の連体形＋助詞
- ④ 副詞＋動詞の未然形＋打消の助動詞の已然形＋助詞
- ⑤ 副詞＋動詞の未然形＋完了の助動詞の已然形

問2 傍線番号(2)・(3)の解釈として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしなさい。

38

39

(2) わ僧がかく参る、いとほしければ

38

- ① 私がこうして参上するのは、おまえがかわいそうだからで
- ② 私がこのように申し上げるのは、おまえがとても物欲しそうだからで
- ③ おまえがこうしてお参りするの、いじらしいので
- ④ おまえがこうして参詣さんげいするのは、とても物欲しそうなので
- ⑤ おまえがこのように詣まじでるのは、とても困ったことなので

(3) うち驚きたる心地、いと心憂く

39

- ① はっと気がついたときの気持ちは、とても心配で
- ② 驚いたときの気持ちは、たいへん憂鬱ゆううつで
- ③ はっと目が覚めたときの気持ちは、とても気の毒で
- ④ 打たれて目覚めたときの気持ちは、たいへん悲しく
- ⑤ 目覚めたときの気持ちは、とても情けなくて

問3 傍線番号(4)「賀茂川にや落ち入りなまし」とあるが、僧がこのように思った理由として、最も適切なものを、次の①～⑤

の中から一つ選びマークしなさい。

40

- ① 賀茂神社に参詣し、お供え物を授かるという立派なお告げを得たので、現世に思い残すことはないと思ったから
- ② 寺院では授けられなかったお告げを、神社で授かったので、寺院に帰って人々に会うのは僧として気が引けたから
- ③ 方々の寺社に何日も参拝して受けたお告げがたいしたことはなかったため、坊舎へ戻るのもきまりが悪かったから
- ④ あちこちで寺社詣でをしたところ、多くの褒美を受けるお告げを得て、自分の物欲の強さを恥ずかしく思ったから
- ⑤ 次々と寺社を巡った結果、各神仏からお告げを授かったため、残った修行は入水することだと考えたから

問4 傍線番号(5)の「に」と文法的に同じものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

41

- ① 浅くて流れたる、はるかにすずし
- ② をさなき人は寝入り給ひにけり
- ③ 桂川、月の明かきにぞ渡る
- ④ おのが身は、この国の人にもあらず
- ⑤ 涙のこぼるるに、目も見えず、ものも言はれず

問5 傍線番号(6)・(7)の本文における意味として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマーク

しなさい。

42

43

(6) ゆかしき方

42

- ① 行きたい方面
- ② 知りたいという気持ち
- ③ 会いたい人
- ④ 参詣したい寺
- ⑤ 聞きたい話

(7) 大方なし

43

- ① まったく人の姿はない
- ② ほとんど答えてくれない
- ③ だいたいの人知らない
- ④ はつきりと返事をしない
- ⑤ 全然知り合いではない

問6 本文の内容に合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

44

- ① 比叡山の僧は、鞍馬寺と清水寺と賀茂神社で百日詣でをしたところ、結果として長櫃一杯分の米と紙とを授かった
- ② 比叡山の僧は、長櫃の中に米と紙が入っているのを見て、夢のお告げのとおりになってとても嬉うれしいと思った
- ③ 比叡山の僧は、仏様に頂いた米と紙を惜しむことなく周囲の貧しい者に分け与え、慈悲深い、立派な僧になった
- ④ 比叡山の僧は、最初は大変貧しかったが、夢のお告げの米と紙をもらったことで裕福な僧になった
- ⑤ 比叡山の僧のように、神仏が願いを聞き届けてくれるまで、しつこく参詣するのは考えものである

問7 本文の出典である『宇治拾遺物語』と同時代に成立した作品として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマ

ークしなさい。

45

- ① 万葉集
- ② 雨月物語
- ③ 太平記
- ④ 保元物語
- ⑤ 伊勢物語